

フーテンの寅さん現る

真岡鐵道の観光ボランティア 植木さん

7月21日、フーテンの寅さんとらに扮してボランティア活動などを続ける植木定男さんさだお（51歳・関本肥土たけつち）が、市役所を訪問しました。植木さんは、衣装やカバンなどの小道具を忠実に再現し、俳優・渥美清あつみきよが映画で演じた車寅次郎くるまごろうになりきる熱烈な寅さんファン。「寅さんが生きた昭和の時代の雰囲気をもっと多くの人に味わってもらいたい」と、4月から真岡鐵道のSLに同乗し、観光客をもてなすボランティア活動を行っています。

▼寅さん列車へ問い合わせは、真岡線SL運行協議会 TEL 0285(82) 9151へ



ことぶき荘でいきいきヘルス体操

県西いきいきヘルス会

7月25日、市立ことぶき荘老人ホーム（中館なかたて）で、県西地区在住の県認定シルバーバリアビリティ体操指導士22人によるボランティア団体・茨城県西いきいきヘルス会が、いきいきヘルス体操の指導を実施。昨年発足した同会は、県西地区に住むお年寄りを対象に、介護予防や健康増進を図るヘルス体操の指導を続けています。会長の風間タカ子さん（62歳・伊讚美いさみ）は、「ここを訪れたのは今日が3度目。回を追うごとにお年寄りの表情が豊かになり、笑顔が増えています」と語ってくれました。



下館祇園まつりで思い出づくり

同友クラブ ちびっ子お神輿体験ツアー

7月27日から30日早朝まで開催された下館祇園まつりにあわせ、同友クラブ（会長 萩野忠夫あぎのただおさん）が、『ちびっ子お神輿体験ツアー』を実施しました。同友クラブは、市内の事業者が中心となり、地域のまちづくりなどを目的に活動する団体。29日・30日に実施された体験ツアーは、招待した子どもたちの思い出づくりと筑西市を全国に紹介するために行ったもので、東京や県内全域などから集まった小学生約70人が、「わっしょい、わっしょい」の元気な掛け声とともに神輿を担ぎました。



筑西あらかると

暮らしを考え まちを知りたい みんなの広場



おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

9/15(金)から とちぎ総合文化フェスティバル 2006

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
15日バックステージツアー、16日キッズオーケストラと遊ぼう(両日は事前申込必要、無料)、17日栃木県交響楽団特別演奏会(有料)

10/14(土) しまじろう・ふしぎなもりのものがたり

小山市立文化センター [小山市 TEL0285-22-9552] 月曜休館
全席指定 1,500円 午後12時30分、3時30分の2回公演
(こどもちゃれんじ)でおなじみの「しまじろう」が遊びに来るよ

9/30(土)から 生誕120年 富本憲吉展

茨城県陶芸美術館 [笠間市 TEL0296-70-0011] 月曜休館
一般700円 高大生500円 小中生250円 大和時代の楽焼・土焼、東京時代の白磁・染付、京都時代の色絵・金銀彩を展示

10/15(日) 音楽のおくりもの

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
全席自由 大人1,500円 子ども500円 赤ちゃんと一緒にクラシック 午前11時開演 子どもも大人もクラシック 午後2時開演

10/13(金) ルジマトフ & インベリアルロシアバレエ シェヘラザード

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
午後6時30分開演 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 学生3,000円 魔性の男“ルジマトフ”がひたすらに踊る

12/4(月) 熊川哲也 K-バレエカンパニー くるみ割り人形

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
午後6時30分開演 SS席18,000円 S席15,000円 B席9,000円 C席5,000円(学生2,000円) 豪華絢爛、空前のスペクタクル

ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



さかい か な ちゃん
坂入 香那ちゃん
9月1日生(大関)



せき かい と くん
関 快斗くん
9月1日生(幸町)



みやがわ ゆい め ちゃん
宮川 結愛ちゃん
9月2日生(小川)



ほりえ ひめ な ちゃん
堀江 姫奈ちゃん
9月2日生(樋口)



よしだ ゆう と くん
吉田 悠人くん
9月6日生(村田)



いけだ せい た くん
池田 成汰くん
9月8日生(樋口)



おじま せな くん
小島 星那くん
9月8日生(下中山)



おおやま まさ き くん
大山 将希くん
9月9日生(直井)



おおやま かず き くん
大山 和希くん
9月9日生(直井)



あらい るく くん
新井 琉玖くん
9月10日生(国府田)



しゅとう ちひろ くん
首藤 千博くん
9月12日生(井上)



いいた まほ ちゃん
飯田 麻裕ちゃん
9月13日生(谷原)



さかい りゅう しょう くん
坂入 龍昇くん
9月13日生(樋口)



わたべ たい が くん
渡邊 大雅くん
9月13日生(藤ヶ谷)



ふじた みお ちゃん
藤田 海央ちゃん
9月15日生(みどり町)



なかの ひかり ちゃん
中野 ひかりちゃん
9月21日生(蓮沼)



ふるしま こう た くん
古島 功大くん
9月22日生(甲)



ふじしろ くれん ちゃん
藤代 かれんちゃん
9月26日生(蓮沼)



にしやま さき ちゃん
西山 沙希ちゃん
9月27日生(新治)



おおち こと ねい ちゃん
大地 琴寧ちゃん
9月28日生(藤ヶ谷)



しまだ みく ちゃん
島田 未来ちゃん
9月30日生(茂田)



やまなか かず き くん
山中 一樹くん
9月30日生(松原)



やなか せい や くん
谷中 靖哉くん
9月30日生(笹塚)

平成17年11月生まれのお子さんの写真を募集しています。

写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、9月29日(金)までに市広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。



村田小学校

児童数206人



おのつかあかね
小野塚朱音

私の夢は小学校の先生になることです。市の未来は子どもたちが安全に過ごせる筑西市になるといいな。



みずがきありさ
水柿愛里沙

将来の夢は保育士になること。そしてよりよい筑西市になるよう元気で明るい子どもを育てていきたいです。



ひきしんや
比気 慎也

将来は自分の才能を生かせるような仕事につきたい。筑西市はこれからいろいろな楽しい行事があるといいな。



ひろせけんた
広瀬 健太

僕の将来の夢はサッカー選手になりセリエAでプレーすること。未来は今よりもっともっと緑を増やしたい。



いとかわのぶき
糸川 伸樹

将来の夢は、NBAでバスケの選手として活躍すること。筑西市はこれからも、明るく楽しい市だといいいな。



すぎやま りょう
杉山 凌

ぼくは、将来バスケットの選手になることが夢です。スポーツが盛んな筑西市にしたいと思います。



ねもと なおゆき
根本 尚征

プロサッカー選手になって、家族をスタジオアムに連れて行きたい。みんなが仲良く暮らせるまちにしたいです。



しみず まなみ
清水 真成美

私は将来お菓子屋さんになりたい。そして筑西市の人たちに私の作ったお菓子を食べて幸せになってもらいたい。



すぎやま あさみ
杉山 安紗美

私の将来の夢は、パティシエになって大勢の人にお菓子を食べてもらうこと。筑西市も人のにぎわう明るいまちにしたい。



つるまき さちこ
弦巻 幸子

私は、将来上戸彩さんみたいな女優になりたい。そして、未来の筑西市を明るいまちにしたいです。

養蚕小学校

児童数455人



筑西市出身の陶芸家・板谷波山（名譽市民、文化勳章受章者）の半生を描き、平成15年に公開された映画「HAZAN」（出演：榎木孝明、南果歩ほか 監督：五十嵐匠 製作：桜映画社）

映画「HAZAN」を観ました
6月10日のNHK衛生第2放送BS2で、映画「HAZAN」を観ました。筑西市が生んだ文化勳章受章者・板谷波山。放映中は釘付けで観ていましたね。波山の素晴らしさは計り知れないものがあり、誰もが感動を受け感激でした。波山の作品は出光美術館（千代田区）などで観ることができますが、映画化によってたくさんの方が波山を観ることができて良かったです。波山と過ごしたことがある人（私の身内）や、波山と一緒に犬の散歩をしたことがある人（私の姉）から、その人となりを話に聞いていましたが、映画でそのシーンが出てきて感動しました。自分の作品のときに満足いかない波山がそれを割るシーンなど、良い映画でした。（千葉市・仙波裕・68歳）

日ごろの暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。広報広聴課まで

おたより

スナップ

おもしろ理科実験に歓声 協和公民館・夏休み子ども教室

8月5日、協和公民館で『おもしろ理科教室』を開催しました。これは同公民館が主催する『夏休み子ども教室』のひとつで、市内から親子など45人が参加。風船によるロケットやキーホルダーづくり、かたくり粉と水で行なう理科実験などに、目を輝かせる子どもたちの姿が見られました。



北嶋
訓子

さん (赤浜)

写真前列右



「俳句は、1年生の時に受けた選択授業で作ったのが初めて。賞に入ることは考えていなかったのですが、今回の受賞にはびっくりです。大賞をいただいたのは、『鳥雲に入るからつぼのペンケース』という句。渡り鳥が北に帰っていく季節の、曇りがちで寂しげな空模様を『鳥雲』と言います。『鳥雲に入る』は春の季語です。『からつぼのペンケース』とは、これから新しい文房具を入れるもの。春になって進級し、新たに始

まる生活への希望や期待を表しています」と語ってくれたのは、県立下館第一高等学校の定時制3年で、同校文芸部所属の北嶋訓子さん(19歳)。北嶋さんは、現代俳句協会が主催し、7,915点の応募があった『第3回現代ジュニア俳句コンクール』で大賞を受賞しました。下館一高文芸部ではほかにも、全日制2年の3人が入賞。藤貫知美さん(結城市・写真前列左)は毎日新聞社賞、廣澤芳恵さん(桜川市・写真後列右)は優秀賞、仁平朱美さん(桜川市・写真後列左)は佳作を受賞しています。

8月19日・20日、愛媛県松山市で開催される『俳句甲子園(第9回全国高等学校俳句選手権大会)』に、下館一高文芸部の一員として参加する北嶋さん。「昨年、私たちは準優勝。今年は勝ちたいという欲を捨て、楽しく俳句を作りたいと思っています」。

『鳥雲に入る からつぼのペンケース』
寂しさと希望を織り込んだ作品です

ぶらり

真岡鐵道の旅

もおか
真岡駅



C11325号 (C11型)

下館駅からSLにゆられること35分、栃木県芳賀地方の中心都市、真岡市の『真岡駅』に到着します。真岡駅は、明治45年に開設され、1日の乗降客数が1500人を越える真岡線の主要駅。真岡駅に着いてまず驚かされるのが、駅舎自体が巨大なSLの形をしていることです。また、駅西口のSL館ではSL復元の記録などが展示されています。SL運行日以外は重厚なSLを駅構内で間近に見ることが出来ます。



SLをモチーフとした真岡駅。市の情報センターなどが併設されています。また、展望テラスからはSLの入線や駅舎の様子が見学できます。

木綿のまち真岡を散策



市内を流れる行屋川

真岡駅から城山通りを歩いて5分、真岡城址のすぐ脇を流れるきれいな川が見えてきます。この川は真岡城の内堀だったものを昭和のはじめに改修し、勤行川の水を導入して、行屋川と名付けられました。現在では、川べりに親水公園などが整備され、市民の憩いの場として親しまれています。さらに歩くこと5分、近年美しく整備された荒町通りに入るとすぐに、江戸時代のたたずまいを残す、蔵づくりの『真岡市物産会館』にたどり着きます。この建物は、江戸時代から続いた木綿問屋の店舗で、その貴重な建物の保存活用を図るために、真岡市が平成6年に物産会館としてオープンさせました。

真岡木綿とは

真岡木綿の歴史は古く、

- 茂木
- 天矢場
- 笹原田
- 市塙
- 多田羅
- 七井
- 益子
- 北山
- 西田井
- 北真岡
- Vol5 もおか 真岡
- 寺内
- 久下田
- ひぐち
- 折本
- 下館二校前
- 下館

■はSL停車駅

江戸時代には、鬼怒川、勤行川、小貝川など河川沿いの砂質の畑で綿花が栽培され、それを原料とした真岡木綿は品質もよく、江戸時代（文化・文政・天保年間）には年産38万反、江戸の間屋が扱う木綿の約6割が真岡産だったというほどの隆盛をみます。しかし明治期には、安い輸入綿糸の普及などにより、真岡木綿は急速に市場を失っていききました。

真岡木綿の魅力に触れる

伝統工芸品として見直されている真岡木綿は、真岡市物産会館に隣接する木綿工房でその魅力に触れることがで



真岡市物産会館（真岡木綿工房）
■休館日 火曜日（祝日開館）・年末年始
■開館時間 10:00～17:30 ※機織り体験は予約が必要です。Tel 0285-83-2560（工房）

また、同じ敷地内には、明治初期に豪商岡部呉服店の2代目岡部久四郎氏によって建てられた『金鈴荘』（県指定有形文化財）が往時の姿をそのままに保存されています。案内してくれた、管理人の田崎いせさん（80歳）によると、床の間に使われている唐木（紫檀、黒檀など）は、今ではとても入手困難な材木であり、襖に使われている金箔の張り付けは現在の技術ではできない貴重なものだと言っていました。

「木綿とSLのまち」真岡市は、歴史と伝統が息づくまちでもありました。ぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。



岡部記念館「金鈴荘」 入場無料
■開館日 土・日曜日のみ
■開館時間 10:00～16:00